

平成18年度経営構造対策事業計画評価表(担い手育成緊急地域)(第4年度目)

都道府県名	長崎県		事業内容	実施年度	受益戸数	受益面積
市町村	ごとう農業協同組合	施設整備	農畜産物処理加工施設(茶FA加工施設) 建物一式 1,737,87 m ² 機械一式 200K×1.5 ライン2系列	平成15年度	46	77.0ha
			高生産性農業用機械施設 茶複合管理機3台		6	10.0 ha
地区名	下五島地区		高生産性農業用機械施設 茶複合管理機4台		3	10.0 ha
			高生産性農業用機械施設 茶複合管理機5台		14	10.0 ha
			高生産性農業用機械施設 茶複合管理機6台		15	10.0 ha
目標年度	平成17年度		防霜施設整備 防霜ファン100台		6	7.8 ha
			高品質堆肥製造施設1棟400m ² ミニホイローダー1台		平成16年度	6
		防霜施設整備 防霜ファン35台		6	2.0 ha	

1、地区選択目標

(1) 一般選択目標

事項	計画時	目標	目標達成プログラム (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)				達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	
新規就農者の確保(人)	15	44	24	31	44		
			22	29	44		
			77.7%	87.5%	100.0%		
農産物販売額の増加(千円)	0	64,736	15,549	32,743	64,736	64,736	
			15,887	35,485	55,004	50,768	
			102.1%	108.4%	85.0%	78.4%	

2、所見及び改善措置等

1、選択目標

(1) 農産物販売額の増加

農産物販売額が前年よりも減少した理由としまして、一番茶に関しては4月の気温低下による減収、三番茶に関しては価格低迷による摘栽を中止したことが挙げられる。

(添付資料)

都道府県経営・生産対策推進会議の所見

全国共通目標は、昨年度にて達成している。しかし地区選択目標の農産物販売額の増加については、目標未達成であった。潮風害や、湿害・有機質投入不足等の土壌条件の不良により成園面積が計画通り伸びていないことが大きい。しかしながら、年々摘採面積も増加していることから、五島茶の生産振興がさらに加速することを期待する。また、経営規模の拡大を志向する担い手への農地の利用集積に向け、農業委員会を含め関係機関が一体となった支援が望まれる。「販売促進・栽培管理研修会」の開催等によって、生産者の意欲も高まり、今後も大いに期待できる。

「農畜産物処理加工施設」(茶F A加工施設)、及び「防霜施設」等、茶関係施設・機械の利用率は、自然災害克服に向けた防風帯の設置や土壌管理改善等、共通した課題解決策の支援を促進することで、成園化率の向上による利用率のアップが期待できるので継続した指導をを期待する。